

第4回 第5次亶理町総合発展計画審議会 議事とりまとめ

開催概要

日 時：平成27年2月19日（木） 午後2時20分～午後4時20分

場 所：農村環境改善センター 多目的ホール

委 員：

	役職等	氏名	出欠
1	宮城大学事業構想学部 副学部長 教授	風見 正三	
2	宮城大学食産業学部環境システム学科教授	郷古 雅春	欠席
3	亶理地区行政事務組合消防本部消防長	菊地 英夫	代理
4	宮城県亶理警察署 代表	千葉 好	
5	亶理町災害防止協議会長	八木 昌征	
6	亶理町婦人防火クラブ連合会長	菅生 和子	
7	亶理地区区長会長(兼自主防災会連絡会長、亶理地区まちづくり協議会長)	伊藤 建夫	
8	吉田地区区長会長	岩佐 裕昭	欠席
9	荒浜地区区長会長	武者 幸治	欠席
10	逢隈地区区長会長	三品 知之	
11	荒浜地区まちづくり協議会長	鎌田 幸夫	
12	吉田西部地区まちづくり協議会長	小山 信悦	
13	吉田東部地区まちづくり協議会長	佐藤 實	
14	逢隈地区まちづくり協議会長	村上 収	
15	亶理町民生委員・児童委員協議会長	横山 敏彦	欠席
16	亶理町老人クラブ連合会長	渡邊 信秋	
17	子ども・子育て支援審議会	志賀 力	
18	わたりっ子を育てる会会長	伊藤 幹代	欠席
19	亶理郡医師会長	大友 弘美	欠席
20	亶理町食生活改善推進員協議会長	清野 珠美子	
21	亶理町農業委員会会長	齋藤 勇紀	
22	亶理土地改良区理事長	三品 幸徳	
23	みやぎ亶理農業協同組合代表理事組合長	岩佐 國男	
24	みやぎ亶理農業協同組合女性部長	安住 郁子	欠席
25	認定農業者協議会会長	片平 洋之	
26	亶理町農産加工推進協議会長	小野 ひで子	
27	宮城県漁業協同組合仙南支所亶理運営委員長	菊地 伸悦	欠席
28	宮城県漁業協同組合仙南支所亶理水産加工研究会会長	木村 光子	
29	亶理ロータリークラブ 代表	櫻井 隆	
30	亶理ライオンズクラブ 代表	黒崎 敏郎	代理

	役職等	氏名	出欠
31	(社)あぶくま青年会議所 代表	佐藤 英治	欠席
32	亶理山元商工会会長	丸谷 由郎	
33	亶理山元商工会女性部長	丸子キヨ子	
34	亶理山元商工会青年部長	刈谷 文俊	欠席
35	亶理町教育委員会委員長	佐藤 正行	
36	亶理町地域婦人団体連絡協議会長	小野 典子	
37	亶理町芸術文化協会会長	大堀 欣七	
38	亶理町PTA連絡協議会長	三品 裕也	欠席
39	亶理町スポーツ振興審議会会長	樋口久美子	
40	NPO 法人 セリアの会理事長	セリア・ダンケルマン	
41	一般住民	宍戸 法男	
42	一般住民	大久 邦夫	
43	一般住民	門馬恵美子	
44	一般住民	木村 一行	
45	一般住民	齋藤 博志	欠席
46	一般住民	伊藤美和子	
47	一般住民	尾本とも代	
48	一般住民	太細 正志	
49	一般住民	鈴木一江	
50	一般住民	紅林 すゞ子	

※全50名中、38名出席。

亶理町総合発展計画審議会条例の第6条2項の規定により会議は成立した。

事務局：

企画財政課	課長	吉田 充彦
	専門官	日下 初夫
	班長	関本 博之
	副班長	庄司 洋
	主事	猪股 裕二郎
	主事	武山 智哉

事務局補助：

国際航業株式会社	増戸 保明
	小山 久美
	清水 里美

配布資料：【次第】

【互理町総合発展計画審議会委員名簿】

【第3回審議会とりまとめ】

【専門部会での議論のテーマ分けと専門部会設置について】

(以上、当日配布)

議事概要

- 副町長が互理町農業委員会長に就任した齋藤勇紀委員へ、委嘱状の交付を行った。
- 開会に先立ち、関本班長が、出席者が50名中38名で互理町総合発展計画審議会条例の第6条2項の規定により会議が成立すること、また、傍聴人（8名）の出席の旨を伝えた。

1. 開会

- 事務局の関本班長が進行した。

2. あいさつ

- 副町長より「大変お忙しい中御出席いただき、ありがとうございます。また、皆様には常日頃から町政運営についてご支援、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。第5次総合発展計画の立案審議のため、昨年9月30日に第1回を開催し、今回は第4回になります。現在はまちづくりの課題や町の将来像、あるいは将来像実現のための基本施策など、計画の骨格となるところを審議して頂いております。今後、各部会ではより専門的で活発な議論や多くのご提言を賜り、平成28年度からは互理町独自の計画をスタートしたいと考えております。よろしくようお願い申し上げます。」とあいさつを述べた。

3. 会長あいさつ

- 風見会長より「本日で4回目の審議会となります。部会に向けて、全体で意見交換と情報共有をしたいと思っております。先日、逢隈のまちづくり協議会にお呼びいただきまして、大変大勢の方にお越しいただき、とても熱い素晴らしい会でした。なかなか日頃から、熱い思いを話す機会は多くはないと思っております。大きい会ですと発言しづらいこともあるかと思うので、部会ではたくさんの自由な意見を出していただきたいです。政策を立案するためには総合計画はとても重要になりますので、活発な議論をよろしく願いいたします。」とあいさつを述べた。

4. 協議事項

- 風見会長が議事を進行した。
- 【第3回審議会とりまとめ】に基づき、事務局の庄司副班長が説明を行った。

風見会長：将来像について議論していきたいと思います。特に、子育てや高齢者福祉、交通などについても課題があります。また、亘理町は観光リゾートとしての可能性も持っています。産業については、地域の資源を活かしたビジネスを検討していく必要があります。さらに、拠点づくりや復興というキーワードも重要です。自分自身が「どういう将来像にしたいのでこういう施策が必要だ」という観点で構いませんので、ご意見を願います。

紅林委員：将来像として、亘理町は温暖で住みやすく歴史もあり、東北の湘南という言葉が合うと思います。土地が安いので家庭菜園もでき、安心安全な物を食べることができるのも良い点です。里山を歩くことは、体を鍛えるのにとっても良いです。バス会社でも里山を歩く企画をやっているのですが、最後には岩沼のグリーンピアの温泉に入るそうです。なぜ亘理の温泉ではないのか聞いたところ、亘理に温泉があることを知らなかったようです。PRが足りないのだと思います。もっと役所でもPRをして欲しいです。また、ぜひ亘理温泉にオートキャンプ場を作って欲しいです。

悠里館の利用者が少ないように感じます。私は仙台や岩沼で陶芸の展示会をやることがあります。亘理町には発表する場がありません。ぜひ悠里館で、文化活動の展示会や発表会等ができればいいと思います。

さざんか号の土日運行がなく、週末のイベントに参加できないことがあります。亘理と岩沼が繋がっていないのはとても不便です。まちづくりでは、人を動かすということが大切だと思います。

樋口委員：温泉はぜひ活用してほしいと思います。町民が遊べる場所が不足しているので、「あそこに行けば何かとても楽しいことが待っている」というようなまちづくりをして欲しいと思います。

宍戸委員：鳥の海についてですが、サイクリングやウォーキングができる場所があります。今後は、イベントやキャンプ場などといった様々なことをして欲しいです。里山整備と合わせ、町には資源がたくさんあるので、協働でより良くしていきたいと思います。

風見会長：「東北の湘南」は響きが良いですね。スポーツについては町でも考えてきたと思いますが、柱の1つとして部会でもスポーツや健康のまちづくりを考えていただけたら良いです。里山、里海については、使う里山と維持する（農業の）里山とがあります。里山を守り、町をつくっていくためには、協働または町民主体でやっていくことが重要になります。2つ目の柱として里山、里海といったことを中心に検討してはどうでしょうか。3つ目としてまちづくりの仕組みについても議論が必要ですね。それぞれの立場からのご意見を願います。

村上委員：逢隈地区はシンポジウムで地域のイベントをやっています。阿武隈川は逢隈地区だけの利点であり、その河川敷を利用したお花畑や運動公園、ハイキングコースなどの整備を計画しています。それだけでなく、パー

クゴルフ場なども考えていきたいと思います。これから議論して熟度が高まった時点で、国交省に対して提案していきたいと考えています。地域の人の盛り上がりを期待しています。

小野委員：吉田地区は、未だ海は怖いという気持ちがありつつも、大型ハウスが整備され頑張ってきています。しかし、そこで栽培されたいちごを買う場所がないように思います。ハウス近辺にいちごやいちごを使った製品を試食できる場所をつくり、6次産業化などを進めたら良いと思います。産業と食が別々ではダメだと思います。

以前から、吉田地区の声が行政に届きにくい傾向があると感じています。町にはいろいろな要望や計画がありますが、吉田地区で実現できる内容もあるので、是非考慮に入れていただければと思います。メガソーラーなども考えていただき、町の中で吉田地区が穴抜け状態にならないようにしていただきたいです。また、学校の周辺に生活の場を作り、にぎわいのある場にして欲しいです。そのためには、例えば農振農用地の解除等も検討していただきたいです。

風見会長：それぞれの地区をどう生かすかがポイントですね。学校を中心としたまちづくりは良いと思います。農商工の連携についてはどう進んでいるのでしょうか。

事務局：農商工連携については、震災以前から取り組んでいました。商工会と協議し、6次産業化に向けて、亘理のいちごを利用したブランド開発や販路の開拓などを含めた連携を、今後も更に進める必要はあると考えています。

風見会長：地域のブランド化はとても重要なことですね。ところで、いちごは買えないのでしょうか。

事務局：いちご団地は国の交付金を使ったもので、その中で直売は現在できない状況です。もう少し時間をかけて農協との協議を進めていきたいと考えています。

岩佐委員：要望はしていますが、なかなか思うようにはいかないのが現状です。いちごのスイーツや加工品も含めて、亘理のものを亘理で売るという計画はあるので、これから進めていきたいです。現在はふれあいセンターで売っています。

また、「東北の湘南」を表すものが、今の亘理にはないと感じています。言葉だけのものにならないよう明るく楽しい街にしたいので、皆で作上げていくまちづくりにしたいと思います。よそにはない、お金をかけるだけではない、地域を活かしたまちづくりをしていきたいです。

風見会長：ロンドンの南東に位置するケント州という田園都市があります。そこは花がたくさん咲き、栄えた町です。このような garden や park といったも

のは、建物などのハードだけでなく人々の花を愛でるような心そのものだと思います。そのためにイギリスでは農業政策を頑張っています。農業にはとても深い意味があると思うので、ぜひ齋藤委員からご意見を伺いたいと思います。

齋藤委員：地域のあり方を考えると、地元の人が住んでよかった町と感じられることが一番重要なのではないのでしょうか。そういう町にしていきたいです。農業に関しては、自家菜園が良いと思います。貸農園でも要望があれば可能だと思います。土地利用については、現在大区画整理をしているところであり、基盤整備した土地を農業やその他の利用を検討していくのが良いと思います。

風見会長：既存の枠にとらわれない提案や施策を考えて欲しいですね。そして、明言化していくことが大切です。

志賀委員：いろんな団体で工夫しているが、それぞれをリンクさせて何ができるかを考える必要があると思います。亘理の特徴を発信していくことも大切です。逢隈地区の新興住宅地ではお年寄りが歩くことが多いですが、ただ歩くだけなので、図書室があれば良いと思います。各家庭のいらなくなった本を集め、お年寄りが集まる場所をつくりたいです。また、3LDKや4LDKでは3世代は住めません。例えば、家を作る際は5LDKにしたり、トイレを大きくしたり、廊下の幅を1m以上にしたりといったアピールを町ですれば、介護問題が緩和されるのではないのでしょうか。介護や子育てをしやすい家をつくることも重要だと思います。学校で亘理の歴史をもっと掘り起こして欲しいです。そして、子ども達のアイデアを行政まで伝わるようにして、実際にやってみる、やらせてみる必要があります。いろんな活動をしていることをもっとPRしていかなければならないです。

風見会長：情報発信と歴史は重要なことだと思います。また、教育と施策が繋がっていければ良いです。

門馬委員：人づくりがとても大切だと思います。学校だけでなく、生涯学習が必要です。公民館での活動が少なくなっており、日中働いている人が夜活動できる場所もなかなかありません。もっと生涯学習に力を入れていただきたいです。

風見会長：人づくりは非常に重要ですので、ぜひ施策のひとつに加えて下さい。学校教育と生涯学習をどう繋げるかということ、地域の方が「先生」になることが重要だと思います。

大久委員：商品というのは付加価値がなければならぬと思います。商品開発アドバイザーを利用して、亘理独自のブランドづくりを進めていくのもまちづくりだと思います。

鎌田委員：荒浜地区だけでなく亘理全体を見ても言えることですが、心のゆとりの

ための公園づくりも良いと思います。花や木を眺めたり、子どもからお年寄りまで1日過ごすことができる公園があれば良いです。また、荒浜だけではなく、町全体が発展していく必要があります。

風見会長：地区ごとの特性を活かし、それらが連携したまちづくりが大切ですね。

小山委員：子どもが遊べる場所が少ないので、今後つくって欲しいと思います。

丸谷委員：農商工連携について、「農」は売り方で苦勞されていると感じています。商工会では補助金を活用して、いちごのジュースや搾りかすを利用したお菓子などの開発を行っています。また、農家の方にも商工会に入ってもらいたいです。仙台市などに出荷するものは早く出していますが、亘理ではとれたてが食べることができ、いちご狩りのいちごはとても好評です。地産地消が重要です。里山については、「里山歩こう会」ができました。芝刈りをしてトレールをつくる予定で、予算化していく予定です。亘理らしさを出し、各地区のバランスのとれたまちづくりを考えていきたいと思っています。

風見会長：今後、共通事項として里山やスポーツ、農商工連携、公園などについて亘理全体と各地域がどんな特色を出せるのかを考えながら議論いただきたいと思っています。活発な議論をありがとうございました。これからのまちづくりの手がかりが見つかったと思います。事務局においては、今までのご意見を施策に展開していただきます。それをまた皆さんでご議論いただければと思います。

- 【専門部会での議論のテーマ分けと専門部会設置について】に基づき、庄司副班長が説明を行った。
- 風見会長から要望があり、会長と副会長は全ての部会を俯瞰するものとして部会に属さないという位置づけとした。
- 小野委員から希望があり、教育部会から保健福祉部会へ変更した。
- 各部会に分かれて自己紹介を行い、部会長、副部会長が以下のように決定した。

総務部会	部会長	三品 知之
	副部会長	菅生 和子
産業部会	部会長	郷古 雅春
	副部会長	丸谷 由郎
まちづくり部会	部会長	村上 収
	副部会長	八木 昌征

保健福祉部会	部会長	志賀 力
	副部会長	紅林 すゞ子
教育部会	部会長	佐藤 正行
	副部会長	樋口久美子

5. 閉会

- 伊藤副会長より「本日は貴重なご意見をありがとうございました。皆様の素晴らしいご意見に感謝申し上げます。また、今後の部会も、どこにも引けをとらない素晴らしい物になると確信しました。本日はお疲れ様でした。」と閉会のあいさつを述べた。（午後4時20分閉会）

